

## 地域ブランド戦略研究所研究所活動報告書

所長 西川和明

### ○研究目的

企業がマーケティングにおいて自社ブランドの認知度を図るための戦略を取るのと同様に、いわゆる「地域産品」のマーケティングにおいても、消費者に受け入れられるための「地域ブランド戦略」が重要である。ところが、企業に比べて地域においてはその取り組みが不十分であるために、製品としてはいいものであっても販路を確保するに至っていないものが数多く見受けられる。地域の自治体、企業、グループが「地域ブランド」育成を行う際の戦略的取り組みを支援することを目的として研究を行う。

### ○研究メンバー

<研究代表者（研究所長）>

- ・経済経営学類教授 西川 和明

<研究分担者（プロジェクト研究員）>

- ・経済経営学類教授 尹 卿烈
- ・経済経営学類教授 小山 良太
- ・地域創造支援センター特任教授 丹治 惣兵衛

<連携研究者（プロジェクト客員研究員）>

- ・北翔大学学長 西村 弘行
- ・福島県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科 非常勤講師 平出 美穂子
- ・福島県中小企業診断協会事務局長 菅野 覚
- ・株式会社タカラ印刷常務取締役（ニュービジネス協議会）林 由美子
- ・福島大学非常勤講師 阿部 尚俊

### ○研究活動内容

現在の政権において、農業は成長戦略の一つとして位置づけられている。そして、農業を担う農家および法人に対しては、単なる農業だけでなく、農産物を原料にして加工品を作る、あ

るいは直接販売するなどで付加価値を高めることで農業を活性化させるいわゆる「6次産業化」への取り組みが推奨され、様々な支援策が行われている。

当プロジェクトでは、「6次産業化」大震災と原発事故で深い痛手を受けた福島県の農業ひいては経済再生の切り札と考え、本県の将来の農業を担う農業系高校の高校生と教員たちを本キャンパスに集め、学校の異なる高校生・教員たち合計50名が共に6次産業化を学ぶ機会を提供した。これには本学学生が3名参加した。

併せて、政府の国家戦略プロジェクトとして設けられた「食の6次産業化プロデューサー

（略称：食Pro）」のレベル2の取得が可能なプログラムで実施した。食Proとは、6次産業化を推進する専門家として国が認定する資格であり、段位制になっていてレベル1から最高位はレベル7までである。食Proレベル2の資格取得者はこの講座実施時点ではまだ全国にまだ6名しかおらず、しかも福島県はゼロであった。この講座終了後、受講した生徒のほぼ全員が資格認定の審査を申請し、現在のところ「食の6次産業化プロデューサー」レベル2の認定者が1名、レベル1の認定者が2名出て来ている。

○実施場所： 福島大学金谷川キャンパス

○実施日：2014年8月4日(月)・7日(木)・8日(金)

○スケジュール

8月4日(月) 午前9時開講 S-13教室

第1講	6次産業化と地域の活性化	60分
第2講	財務管理	90分
第3講	6次産業化先進事例分析	90分
第4講	ビジネスプランの作り方	180分

午後5時終了

8 月 7 日 (木) 午前 10 時開講 募金記念棟

第 5 講	農業をめぐる法制度	60 分
第 6 講	食品衛生管理	60 分

先駆的農家見学 協力：NPO ゆうきの里ふるさと  
づくり協議会

第 7 講農業技術 第 8 講食品加工

第 9 講マーケティング

について農家において実習的に学習

午後 5 時終了

8 月 8 日 (金) 午前 10 時開講 募金記念棟

第 10 講	ワークショップ (事業計画作成)	180 分
--------	------------------	-------

事業計画の発表 一般市民、企業参加の下で実施

午後 4 時終了